

つたのである、正義即ち國民精神の旺盛したる聖戦の前には敵はない、國防は人的要素である壯丁の七割は農民だ此等農民は如何、戦争が起つた場合に米の生産が今の通りか、少くか、農村に對する政策は重々大である、財閥と結託し政黨政治を行ひつゝあつたが故に農村は物質生活、精神生活に不安を與へられた、皇道會は米價の安定として土地を國家の手に移し收穫の四分の一を小作料として納め田地に依りては物納させ、米價の調節を圖るのである、米の賣却は一定の價格を以てすれば一定する而して利益は耕作に従事する者には反別にて低利資金を融通するのである、副業の統制もあるが略し應急對策としては負債整理等があるも現内閣は徹底したことは出来ない、尙政府米の農村貸出、外米の輸入禁止、朝鮮米台灣米の差別取扱は建國精神に反するが、政治的原則

財團 協調會 福岡出張所

上統制せねばならぬ。今日産組合が發達して中小商工業者が困つて居る組合が組合員の消費以上に生産するが故である、手を握らねばならぬ、組合が役人の古手を高給で雇入れる様な事をせず邪道に入らぬ様にせよ、國防の七割を持つ農村の壯丁の思想を堅實ならしむる爲に農村の政策を根本から建直し國民總てを中産階級に導く事である、既成政黨財閥の轍を踏まざる様自重し東洋平和の爲に努力を希望す。

○皇道會の使命 皇道會幹事長 陸軍中將 黒澤圭一郎

皇道會は左翼でも右翼でもない、堂々たる合法運動をなすものである、ファッショ、ナチスに非ず日本には皇道精神以外にはない。

議會を否認するものではなく正しい議會を造らんとするのである、現在では總てが西洋カブレをして日本を忘れて來た、

財團 協調會 福岡出張所